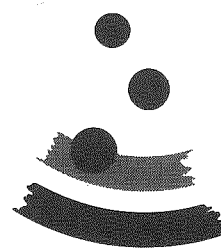


発行所 片貝新聞社 〒947-01 小千谷市片貝町10367-4 TEL・FAX 0258-84-3246 編集発行人 吉原芳郎

題字 黒崎敬渾氏



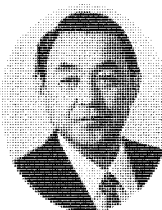
JA片貝町 シンボルマーク 天の恵み地の恵み

第1回定例市議会

安達、関両市議が一般質問

福祉、いじめ問題など多彩

第一回定例市議会は3月4日、5日、14日、21日の日程で開催され、平成8年度予算などを決めた。14日には市政に対する一般質問が行われ、9名が登壇したが片貝町選出議員からは安達稔市議、関広一市議の2人が質問した。要旨は次のとおり。



▽安達稔市議

①「福祉、保健医療の整備について」
当市の高齢化率は平成7年4月で21.1%、これは全国平均14.1%、県平均18.1%を上回っている。今後高齢化率は上昇が確実であるが、市民の多くは高齢者となっても自宅で生涯を全うしたいと希望しており、そのための人々の生涯にまで影響を与

②「いじめ、登校拒否について」

いじめ問題は全国的に大きな問題であり、一向に解消に向っていない。いじめは人権侵害であり、一個の人間の生涯にまで影響を与

③「防災計画について」

市が策定する防災計画の中の震災対策計画はどのようなものとなるのか。新年度予算の中でどのように反映されているのか。

④「カジュアルデーについて」

民間や一部自治体でカジュアルデーが設けられるようになり増加傾向にあるが、当市ではどう考えているのか。

▽小出弘市長

①「福祉、保健医療の整備について」
福祉、保健医療は緊急な課題と認識している。各サービスの拡充と共に、保健医療、福祉の関係機関連携の下に提供体制の強化を促進してゆきたい。

②「いじめ、登校拒否について」
いじめ問題は全国的に大きな問題であり、一向に解消に向っていない。いじめは人権侵害であり、一個の人間の生涯にまで影響を与

③「防災計画について」
市が策定する防災計画の中の震災対策計画はどのようなものとなるのか。新年度予算の中でどのように反映されているのか。

④「カジュアルデーについて」
民間や一部自治体でカジュアルデーが設けられるようになり増加傾向にあるが、当市ではどう考えているのか。

▽関広一市議

①「総合開発計画基本構想と予算について」
残念なことに第三次市総合開発計画の答申は2月26日になってしまった。新年度予算案は1月に編成された。市長定例会2月上旬中旬に終了している。本来なら基本計画、実施計画が策定されてから初めて予算が構築されるべきであるのに、これは本末転倒といえる。

②「ホームヘルパーの位置付けについて」
当市の保健医療福祉計画によれば、平成11年度にヘルパー人員52名を目標としている。現在は常勤ヘルパー13名、地域ヘルパー15名であるが、需要に応えきれない。目標達成までに優秀な人員確保のためには待遇改善が必要。当市は県内20市の中では低い方である。

③「市名をひらがなにしようか」
県外の人に名前を渡して「小千谷市」を正しく読める人が少ない。対外的にも経済活動においても「おぢや市」とした方がいいのではないかと、早急には言わないが、担当する課を決めておくべき。

④「小出弘市長」
各種検討作業等により答申が遅れてしまった。構想と予算との整合性は基本的には保たれていると思う。企画と財政が同一課にあることについては、大規模市ではともかく当市規模では効率的でベターと考えている。

⑤「平成12年までに52名確保」
当市の保健医療福祉計画によれば、平成11年度にヘルパー人員52名を目標としている。現在は常勤ヘルパー13名、地域ヘルパー15名であるが、需要に応えきれない。目標達成までに優秀な人員確保のためには待遇改善が必要。当市は県内20市の中では低い方である。

⑥「市名をひらがなにしようか」
県外の人に名前を渡して「小千谷市」を正しく読める人が少ない。対外的にも経済活動においても「おぢや市」とした方がいいのではないかと、早急には言わないが、担当する課を決めておくべき。

今年の高校受験

春の息吹を感じるころになる。何故か心弾む思いがする。しかし転勤族や進学、就職で故郷を離れる人にとっては別れの季節でもある。

きくところによると今年の高校受験で、片貝中学校から十名以上の失敗者を出したらしい。一瞬何故そんなに大勢の受験生が失敗したのかと感心した人も少なくない。実力以上のところを望んだのか、昨年の倍率を目標として逆目となったのか等種々考えられる。ところで他の中学校はどうだったのか聞いてみると、なんとこれが軒並み同じ状態で、片貝以上

のことも多くあった。こうなる原因が何処にあるのか探りたい。あるのか探りたい。あるのか探りたい。

「承知の通り新潟県の大進進学率は沖繩と最下位を争うほどの後進率である。ひと頃高校の先生に原因があるといわれたこともあったが、あながちそうとは言いにくい。県民性や環境にも問題がありそうだ。大都市を中心として受験競争と称されるほど塾が乱立し、何十万円という高額な書籍類が売られ、個人指導、家庭教師、はては最近ではフックスや衛生放送を使っている受験指導とエスカレーターしている。こうした連中と大学受験を争って勝負ははじめから歴然

としていた。余程の秀才でもなければ、なまなかで一流大学への進学は難しい。幸にも高校受験は地区別に分けられており、それほど激しい競争はない。特に片貝中学校は広範囲な高校に受験できるという恵まれた環境にある。

近年までは業者アストがあり、自分の学力を偏重して改廃しても、厳然と学歴社会が残っており、一流官庁に勤めたいという欲望が変らない限り、そう簡単には改廃しない。僅か何年か学校

主張

近年までは業者アストがあり、自分の学力を偏重して改廃しても、厳然と学歴社会が残っており、一流官庁に勤めたいという欲望が変らない限り、そう簡単には改廃しない。僅か何年か学校

行ったからといって行かなかった人となんか差があるとは考えにくい。むしろ逆のことすら往々にしてある。今年受験に失敗した人たちはこうした制度の変更目的の被害者だ。軽く考えた方がよい。長い人生で一年や二年足踏みしたらどうやって、何の影響もないことは私共をどうも者が一番よく知っている。むしろ他の人より余計貴重な経験をしたこと誇りに思っている。来年のことをいこうと鬼が笑うというが、来年はこうした失敗を二度と繰り返さぬよう、関係者の尚一層のご努力を期待したい。

眠っている品物を陽のあたる場所へ 恒例のガレージセール人気呼ぶ

リサイクルかたかい今年も活発

第3回ガレージセール(不用品交換会)が3月3日片貝公民館で催された。リサイクルかたかい主催



出品数は、281点と昨年より多少下回ったものの54%の販売率、売上金10万円と好調だった。長らく押し入れ

品物は、スキューター、利用も呼びかけた。

平成7年の同会のリサイ

かたかい春秋

冬来たりなほ 四温の陽気に伴って、春遠からじ。冬桜の開花も心待ちになり、何となくウキウキして、先人が残した言葉のように、こんな気候や気持とは裏腹に市議会はいったい何をやっていくのか。仕事に忙しかつたが、今年三月は近年に例年よりも春の気候が多いが、百条委員会配は感じつつも実感する。配は感じつつも実感する。配は感じつつも実感する。配は感じつつも実感する。

一般質問項目

- ① 岩田代地区の産業廃棄物処理場建設の反対について
- ② 室内ゲートボール場を建設してゲートボール人口を増やして高齢者の痴呆予防対策上からも努力すべきで
- ③ まちづくり 区画整理事業について
- ④ 産業廃棄物問題について
- ⑤ 国民健康保険について
- ⑥ 福祉行政について
- ⑦ 行政の基本姿勢について
- ⑧ 新築好雄市議
- ⑨ 談合疑惑と入札について
- ⑩ 猪又周治市議
- ⑪ 今後の財政予測と諸施策の実施について
- ⑫ 久保田陽子市議
- ⑬ 学童保育について
- ⑭ 宮崎正純
- ⑮ 公害防止条例について
- ⑯ 国立療養所西小千谷病院の存続について

地球はゴミ箱ではありません!!

定例活動始まる 7日午前9時 同会は、4月7日(午前9時~9時半)より定例のリサイクル活動を開始する。回収品は、アルミ、スチール、新聞紙、雑誌、ダンボール、古着、発泡スチロール、乾電池、毎回ビン

の混入があり非常に危険なので絶対に含まないで欲しいとの事。又街はアルミとスチールに分けて出すか、会場にそれぞれのカゴを用意してあるのを個々に振り分けてもらいたい。4月の作業には特に多くの品物が集まるので発泡スチロールを池ヶ原の米山産業まで代表は語る。来場のお礼に再生紙トレットペーパーをプレゼントし再生品の利用も呼びかけた。

衣類、バッグ、食器類から手作りクッキー、もち米、大豆などの食品も目見え、近隣農家からは新鮮なきのこを格安に提供もあつた。春の鉢花も会場に色とりそえた。

